

スリランカにおける都市交通

EXPERT GROUP MEETING ON 05-06

NOVEMBER 2013

FUKUOKA, JAPAN

URBAN TRANSPORTATION

UN-HABITAT

H.W. SOMARATHNE

ASSISTANT DIRECTOR (PLANNING)

URBAN DEVELOPMENT AUTHORITY

SRI LANKA

❖ 都市交通の概要

人々や物は都市間と都市内を移動する。

都市面積は25%

交通手段

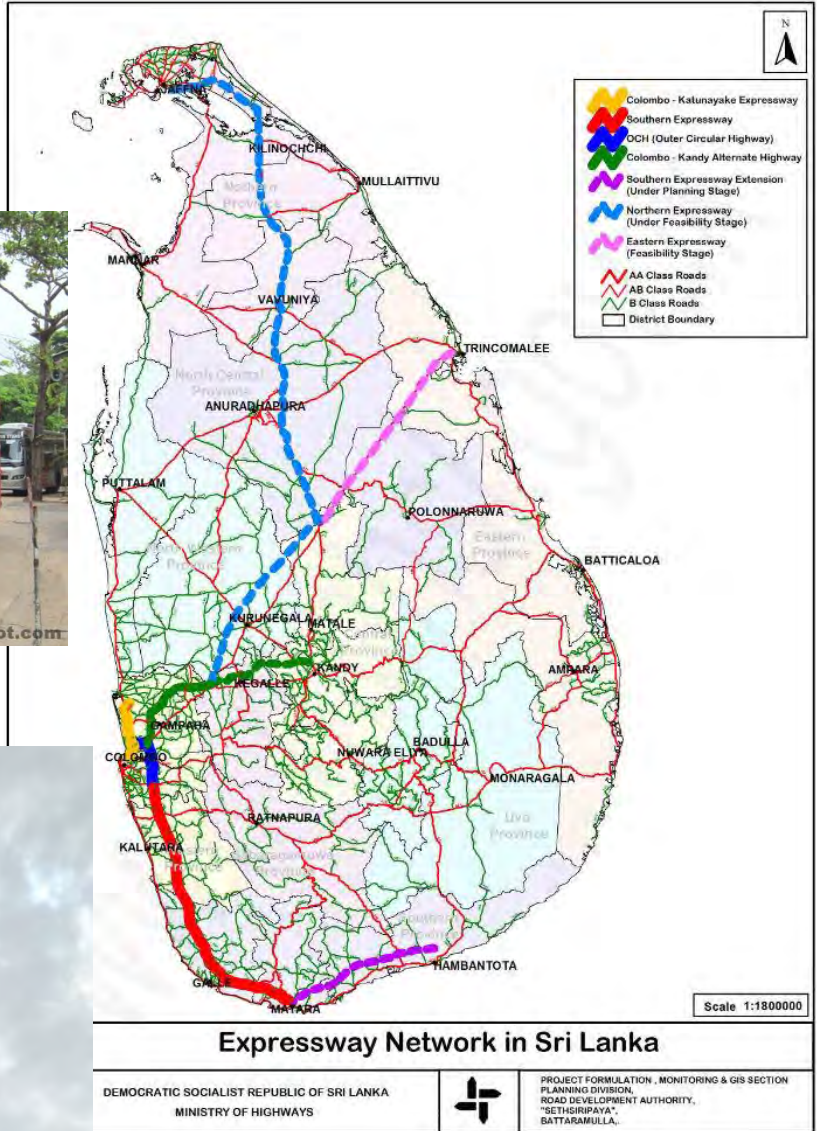
陸 - 道路、鉄道、小路、歩道

海

空

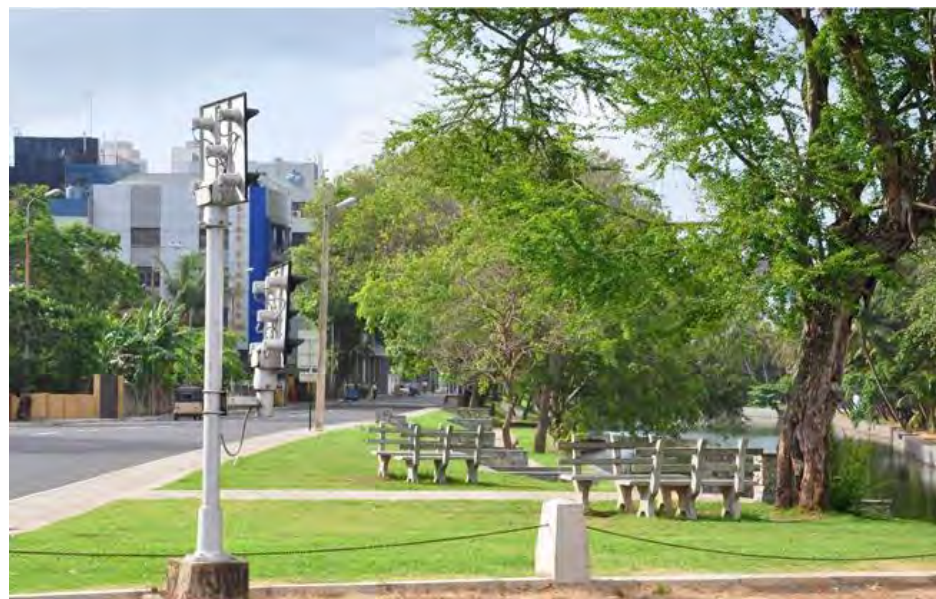
インフラの現状、法律 / 規制

- 公道に関する法律 1861
- 南部高速道路に関する法律
- 国営高速道路に関する法律
- 高速通行料金に関する法律



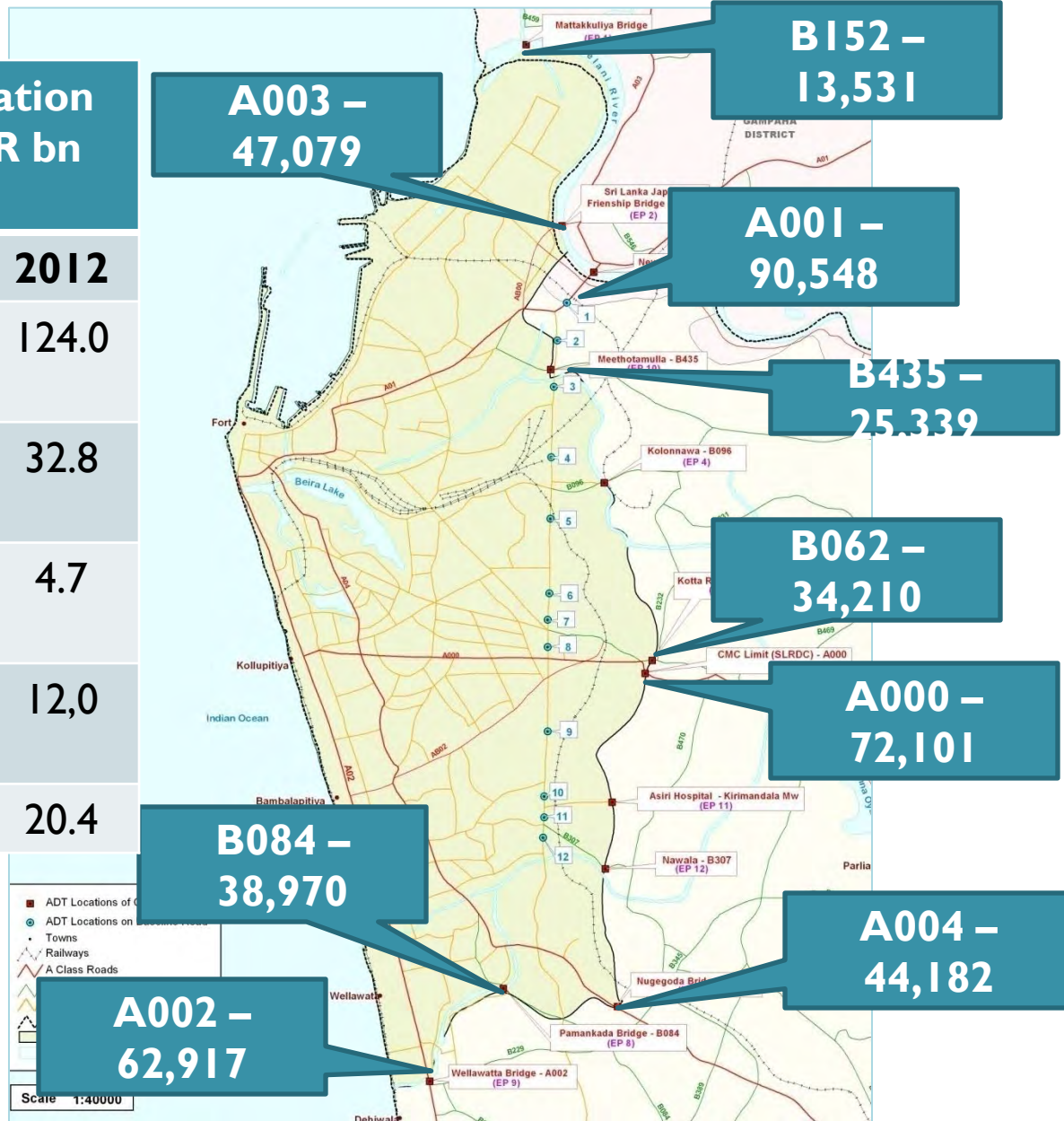


都市部における 公共モビリティ



コロンボ市内入口における交通渋滞

Sub Sector	Allocation LAKR bn	
	2011	2012
1. 道路	120.0	124.0
2. 鉄道	20.8	32.8
3. バス	6.2	4.7
4. 空港	01,7	12,0
5. 港	11.7	20.4



コロンボにおける交通のパターン

- 日々の交通量 - 567,405 台/日
- 種別
 - 車 - 31.32 % (177,700.07台/日)
 - バン - 11.31% (64,146.98台/日)
 - バス - 5.64 % (32,004.69台/日)
 - 貨物自動車 - 45.78 % (259,813.39台/日)
 - 重量車両 - 5.95 % (33,739.15台/日)
- 平均速度 - 20 – 25 km/h
- 信号のある交差点の数
 - RDAによる管理運営 - 31 Nos
 - CMCによる管理運営 - 48 Nos

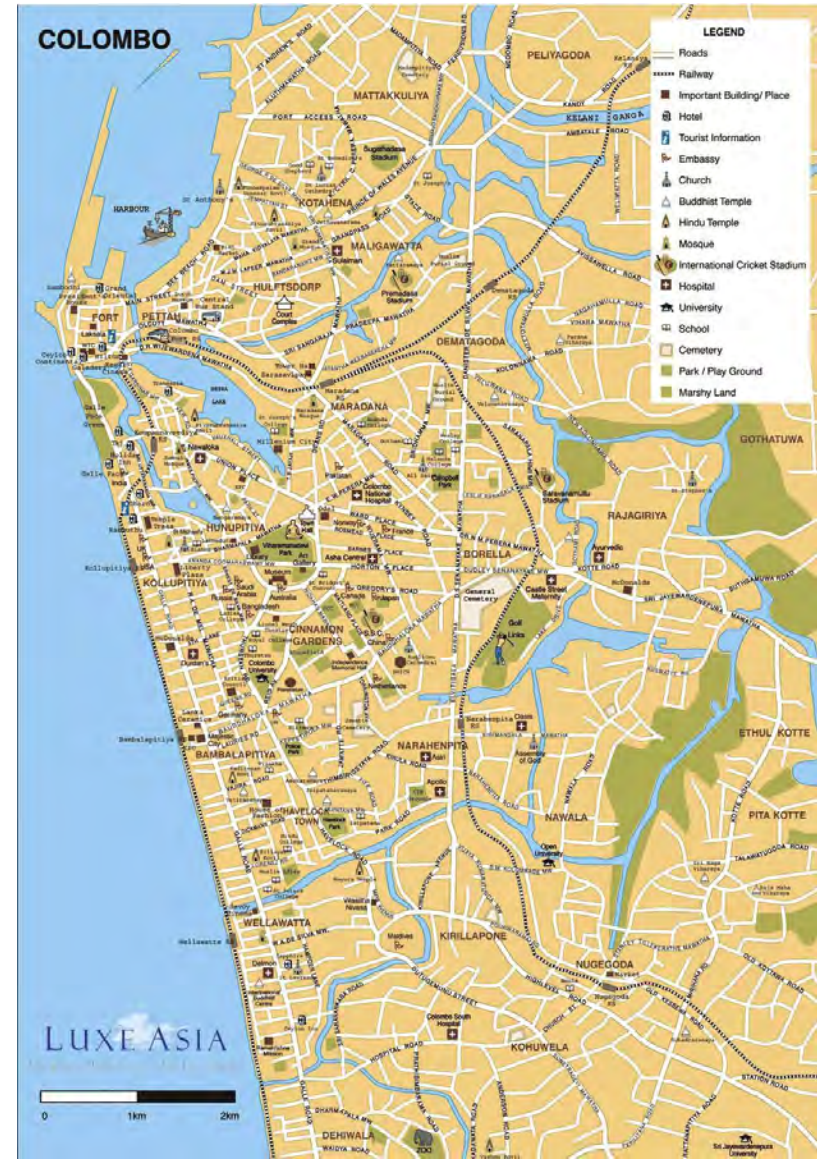
今後の課題

- 適切な土地利用計画の欠如
- 道路ネットワークのキャパシティ及び連携不足
- 公共交通機関の低利用
- 公共交通システムの未整備
- 公共交通手段への接続性

都市交通の発展

- 公共交通の手段として、都市水路の活用を促進
- 歩道と小径の開発
- 建物の中に公共のための空間を確保したデザインの検討
- 信号の設置
- エリア渋滞の管理システム
- コロンボ域での高架を研究する
- コロンボ都市交通の研究
- 公共/政府のパートナーシップ
- 政策変換

都市交通として活用可能な運河と水路



今後の方向性

- 現在、スリランカでは土地の大部分が使用されている。
- 地下鉄、電車、LRT、BRTの開発。
- 水路を活用した交通システムの開発。
- スリランカ西部の交通計画の実施。
- 財源の電車網への投入。
- 技術面、資金面での援助が必要